

上級者向け

市販品ではもう、ガマンできない!  
オリジナルの  
**FRPパーツ**  
を自分で作る!

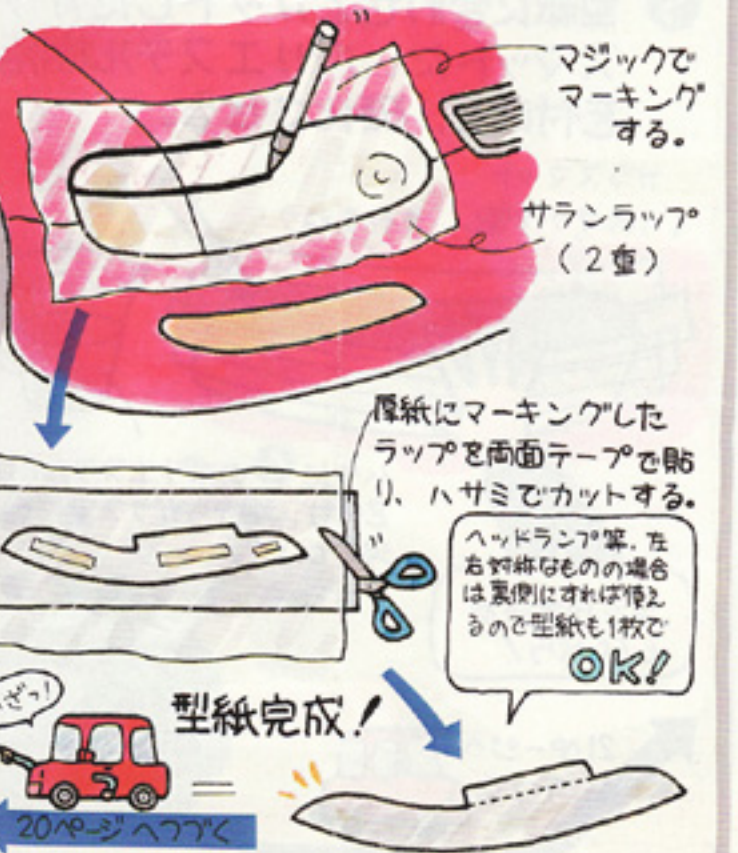
●FRPパーツを作る前に準備するもの●



はじめに  
完成予想図を描いて  
デザインを決めよう!

1 型紙を作る。

写真に描いてもよい。



誰にも負けない/  
最強のコワザ



アイディアが決め手

コワザ自慢のフリークから学べ!

さて次は、全国のコワザ自慢のフリークから届いたホットな写真をご紹介。何をどうしたらいいのか……というビギナーならなおさら、ジックリと仲間のクルマを観察して、コワザを学んでほしい。なんていったって、コワザはアイディアが重要。アイディア次第で、その世界は無限大に広がるはず。そして、ヒントを握ったらあとはチャレンジあるのみ!

スッキリとしたヒップスタイルがグッド

■マークII

松岡正和さん  
22歳 (愛知県尾張旭市)

コワザを多用しながらも、意外なほどスッキリとまとめられているのが特徴だ。フルエアロでパッチリと武装したスタイリングの足りない部分をコワザで補っているといった感じ。また、ボディ同色のリヤガーニッシュを作り、テールランプの形状を変えてみせるなど、手軽なワザで大きなイメチェンに成功しているのも見逃せないポイントのひとつ。必要以上にでしゃばらないコワザのバランス感覚がスッキリフォルムを作っているといえる。

■SPEC  
A) トライアル B) C) オートビスタ D) GT用純正 E) ATC・AD レグノ・モード4コンビ F) マルコ G) ボルクレーシング GTU (7×16) H) ビレリP 7 (205/55) I) アベックス J) FETスーパーミニ K) オレンジコーナーマーカー 自作Rガーニッシュ/デコライン/エアダクト加工 クラフトハウス Fグリル カシムラ・マフラーカッター Rエアロマジック+自作ウッドパネル



**リヤガーニッシュ**

①紙で制作する。  
②アクリル板を貼る。  
③塗装する。  
④コンパウンドで磨く。  
⑤裏に両面テープを貼る。  
⑥光の透けない様に、カッティングシートを貼る。  
⑦一体感を出すために、モールを貼る。

⑧テールランプに装着、完成。

**エアダクト加工**

①純正のエアダクトグリルをはずす。  
②真ん中のスリット部分に黒のカッティングシートを貼る。  
③紙で制作した、アクリル板を貼る。  
④ボディに合わせた厚さの、コーナーをサンダーペーパーで削る。  
⑤ゆきくりぬく。  
⑥ビス穴を空ける。  
⑦塗装する。  
⑧コンパウンドで磨く。

**AC-RS 330**

↑SLBを削って日本一に輝いた松浦さんのヨーロッパ・ナンバープレート。細かいところまで本物ソックリに作られている

↑暗いところで光らせた状態。まるで字光式ナンバーのように光る。発光中でも発熱しないから触っても安心だ

↑ELのシートと直流を交流へ変換するインバーター込みの価格は19mm×80mm : ¥11,000~100mm×500mm : ¥51,000

関東化工 03-3452-9311  
PHOTO/ウイズ・フォト

光るコワザ・テク

デザイン自由自在の発光するフィルムが誕生

EL

カッティングシートなどフィルム状のシートは、コワザを使ったドレスアップに絶対必要なアイテムのひとつ。そのフィルムが発光するとなれば、さらに応用範囲が広がるというもの。今回紹介するのは、株式会社エスエルの開発によるもので厚さ0.5mm以下とたいへん薄く柔軟性があり、さらに簡単な配線でも発光するという優れモノ。そこで、本誌ではこのELの使い道のひとつを昨年のSLBを削って日本一となったアベニールの松浦さんに頼んでヨーロッパ・ナンバープレートを作ってもらった。写真を覚えてもらえば一目瞭然だけれど、感嘆はなんでもこのようにナンバープレートだけでなく、夜になるとこのように文字の部分だけ光るというものだ。このほかにも、アイディア次第でいろんな楽しみ方ができるはず。キミならどんな使い方をしてくれるのかな?

95'29'27" (with large red numbers)

1